

トピックス編

1 表彰

(1) 院内表彰（平成25年1月4日）

【功績表彰】

・団体表彰

① 専門・認定看護領域における質向上委員会

（理由：看護師の育成・質の向上を推進するとともにイベントを通じて患者ご家族の支援に尽力した。）

② タンデムマス・スクリーニング事業立ち上げチーム及び関係者一同

（理由：タンデムマス・スクリーニング事業の実施に際し、通常の工期を大幅に短縮して立上げを実現した。）

③ 胎児超音波遠隔診断チーム一同

（理由：胎児超音波遠隔診断の推進に努め、県内産科施設との医療連携に尽力した。）

・学術分野

薬剤部 高橋 良平 主任

（理由：抗てんかん薬の血中濃度測定の研究に取り組み、日本医療薬学会論文賞・日本てんかん学会優秀ポスター賞を受賞するなど院内研究の質の向上に多大な貢献をした。）

【感謝状贈呈】

① ボランティア団体トライアングル

② 看護部 メッセージャー 林 武男

③ 安藤 千鶴子



(2) 知事表彰（平成25年1月11日）

【永年勤続表彰】

・30年表彰

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| ①鍵本 聖一 | ②山本 英明 | ③小野 善栄 | ④遠藤 法男 |
| ⑤金子 美晴 | ⑥石田 泰嗣 | ⑦水村 こず枝 | ⑧水村 たか子 |
| ⑨兵藤 登美子 | ⑩武藤 規雄 | | |

・20年表彰

- | | | | |
|---------------|--------|--------|----------|
| ①菱谷 隆 | ②小島 英之 | ③古山 義明 | ④長谷部 美知子 |
| ⑤小櫃 典子 | ⑥上澤 克昭 | ⑦佐藤 華子 | ⑧鯨井 美代子 |
| ⑨佐藤 潤 | | | |
| ○清田 路恵（退職者表彰） | | | |

2 ボランティア活動

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
カリヨン文庫	1986年	図書の貸し出し 読み聞かせ、お話し	1 A, 1 B, 2 B, 2 C, 3 A, 3 C 活動内容、訪問病棟により1回/週 ～2回/月と活動回数が異なる。
トライアングル	1993年	外来フロアの壁に貼り絵を展 示	季節ごとの張替: 外来待合廊下2か 所
外来ボランティア	1997年	患者、家族の案内等	月～金曜日: 外来
難聴ベビー外来 ボランティア	2000年	難聴ベビー外来での保育	1回/月: 保発棟
じゃんけんぼん	2001年	入院患児の遊びの相手	第1・3火曜日: 3 A
写真展示	2005年	風景写真の展示	季節毎の入替: 来廊下
影絵 あいあい	2005年	影絵の上演 (お話影絵、歌の影 絵)	1回/年: 会議室
人形劇 あゆ	2007年	人形劇の公演 (人形劇、手遊びなど)	不定期: 会議室
天文写真展示	2008年	天体写真の展示 こどもたちからの質問に回答	年数回: 保発棟廊下
ホスピタルクラウン	2012年	クラウンの病棟訪問	月2回

3 「養護の会」各種イベント

7月2日～9日

「七夕飾り」

9月29日

「影絵」

ボランティア「あいあい」による企画で、約30名が参加し好評であった。

11月7日～11月19日

「絵本カーニバル」

NPO法人絵本カーニバルの協力により、病棟内で絵本の展示を行った。ワークショップによるミニ絵本づくりも好評であった。

11月中旬～11月末

「クリスマスツリーの飾り作り、飾り付け」

患児、看護師、保育士でクリスマスツリーの飾り作り、飾り付けを行った。

12月10日

「サンタクロース」

NPO法人難病のこどもネットワークの協力により、サンタクロースが入院患者一人ひとりにプレゼントを配布し、たいへん喜ばれた。

12月1日～12月26日

「クリスマスイルミネーション」

当センターの中庭、プレイガーデンにイルミネーションの装飾をした。中庭に作った大きなツリーやトナカイ、サンタクロースのモニュメントも好評であった。

1月28日

「ストリングラフィコンサート」

NPO法人こども文化ステーションの企画でストリングラフィ（大きな糸電話のようなオリジナル楽器）を用いたコンサートの開催。約70名が参加し好評であった。

これらの事業は、長期入院などで外に出ることのできない子ども達の生活に潤いを与えたいと、医療スタッフや職員からなる「養護の会」が企画、協力したものである。

4 院内保育

(1) こども広場

院内保育室は、平成24年度で12年目を迎え、ホームページ、院内案内、利用者からの紹介などで、入院されている御家族の認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院している患者の兄弟姉妹で、2歳6ヶ月から6歳までの未就学児である。

対象外保育として、1歳から2歳5ヶ月以下のお子さんや小学生については、病棟が対象外依頼書を発行し、保育可能の了承があった場合に保育を行っている。

また、緊急を要する場合に、外来の看護師長の了承があれば、外来の保育も行っている。

毎日の保育では、日々違うおさんが利用することや、当日にキャンセルが入ることにより、当日にならないと利用者が確定せず一貫した保育は難しい状況にある。

節分や七夕など季節の行事の時には、飾り付け等の制作を行っている。特にクリスマス会は、全員参加の1年に1度の行事として位置づけ、毎年保育士の出し物やゲーム等を行い、手作りおもちゃをプレゼントし、喜んでもらっている。

利用者の推移

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人 数	1,259人	1,132人	1,350人	1,316人	1,126人

平成24年度利用者の月齢構成

年 齢	人 数	構 成 率
2歳6ヶ月未満	212人	18.8%
2歳6ヶ月	203	18.0
3歳	309	27.4
4歳	145	12.9
5歳	119	10.6
6歳	39	3.5
就学児	8	0.7
外 来	91	8.1
計	1,126	100

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日にオープンした。(慣らし保育は3月から開始)

保育対象の子どもは産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時(前後に各1時間の延長あり)まで、定員は12名(2階部分を使用した場合24名)保育園の運営は民間業者に委託で行っている。

平成24年度は、年度当初の入所者10名で途中減少はあったものの、年度末には19名となり、1年間で医師3名、看護師15名及びコメディカル職員2名の計20名が利用した。

また、規程を改正して平成23年4月1日から週2回(月、木)の夜間保育を行っている。

埼玉県立 小児医療センター 歌

さんぼく たけし 作詞
 巖 のぼる 作曲
 川越 徳子 編曲

The musical score is written for voice and piano. It consists of seven systems of staves. The first system shows the vocal line and piano accompaniment. The second system includes Japanese lyrics under the vocal line. The third system continues the lyrics. The fourth system continues the lyrics. The fifth system continues the lyrics. The sixth system continues the lyrics. The seventh system includes first and second endings for the vocal line and piano accompaniment.

埼玉県立 小児医療センター 歌

さんぼくたけし

若草萌える 武蔵野に
 病める幼き 子どもらへ
 愛の医療を 捧げんと
 集り参じて 灯をともす
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
 幼き生命を 救わんと
 燃える希望と 情熱で
 明日の医療を いま築かん
 われら 小児センター ここにあり
 小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詩、作曲された)